うしくでびっくり！

NO49

ひとのあつまるところ？

さく　おくの地区社協
いいだ　あきお

なっちゃんが、おかあさんとおさかのこみちを　さんぽしていると　きんじょのひとにであった。

「こんにちは」
「こんにちは」

それから　ひとしきり　はなしていると、

「さいきん、あきやが、ふえて、ひとがすくなくなっちゃったわね。」

という　はなしになった。

　なっちゃんは、はなしをきいて　きになった。
「どうして、あきやがふえたり、ひとがすくなくなったりするの？・・・う～、わからない！」
と。なっちゃん、こまって、おじいちゃんに　きいてみた。ものをよーくしっている　おじいちゃんが、だーいすき。
　あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？

わたしは、なぜなぜでーす。

おじいちゃんに
きいてみると

「そうだな・・・。さいきんよくきく、はなしだ。
　あるひとは、ひとりぐらしだったが、むすめのいるうちに　ひきとられたんだ。あるいえは、すんでいるひとが、なくなって、あきやになった。
　こうなるわけは、さまざまだ。くわしいことは、あきおさんに　きいてみれば・・・。いっしょにいってあげるよ」

え！
ほんとう

やくそくのひ。おじいちゃんと　ふたりで、あきおさんのいえにいった。

おじいちゃんは、ようじができて、いそいで　かえっていった。

でも、なっちゃん、ゆうきをだして、

「どうして、あきやがふえてひとがへっているんですか?」
と　きいてみた。

じつはね。それには、ふかいもんだいがあるんだよ。

ではまず、うしくしの人口（ひとのかず）をみてみようね。令和５（2023）ねんの人口は、83,920にん。それを３地区（うしくちく・おかだちく・おくのちく）で、くらべてみるとおくのちくは、うしくしの人口の5.28％（１００にんちゅう、やく６にん）しかいないんだ。

うしくし	うしくないでのしめるわりあい	
	人口（じんこう）	世帯（せたい）
うしくちく	５８．９１	６０．５３
おかだちく	３５．８１	３６．８０
おくのちく	５．２８	２．６７

ちなみに世帯数は、2.26％（１００けんちゅう、やく３けん）なんだ。

びっくり！

こんなに　すくないんだ！

でも、めいじ43ねんまでは、
人口の35.5％と3地区で一番
おおかったんだよ。ここをみてね

おくのちく

牛久市を構成する3地区【村→町→市】

	西暦	和暦		牛久市域合計 合計	指数	牛久地区 計	比率	指数	岡田地区 計	比率	指数	奥野地区 計	比率	指数
町村制施行	1889	明治22		6,664	1.00	2,078	31.8	1.00	2,018	30.8	1.00	2,447	[redacted]	1.00
	1890	23		6,713	1.01	2,038	30.9	0.98	2,092	31.7	1.04	2,464	37.4	1.01
	1891	24		6,820	1.02	2,061	30.8	0.99	2,157	32.2	1.07	2,480	37.0	1.01
	1892	25		6,921	1.04	2,115	31.1	1.02	2,165	31.8	1.07	2,523	37.1	1.03
	1893	26		7,110	1.07	2,116	30.3	1.02	2,281	32.7	1.13	2,579	37.0	1.05
	1894	27		7,132	1.07	2,070	29.6	1.00	2,332	33.3	1.16	2,594	37.1	1.06
	1895	28		7,514	1.13	2,346	31.8	1.13	2,407	32.6	1.19	2,622	35.6	1.07
牛久駅開業	1896	29		7,700	1.16	2,466	32.6	1.19	2,445	32.3	1.21	2,651	35.1	1.08
牛久村	1897	30		7,585	1.14	2,333	31.3	1.12	2,487	33.4	1.23	2,627	35.3	1.07
	1898	31		7,768	1.17	2,480	32.5	1.19	2,519	33.0	1.25	2,629	34.5	1.07
	1903	36		8,150	1.22	2,284	28.2	1.10	2,708	33.4	1.34	3,111	38.4	1.27
	1904	37		8,163	1.22	2,288	28.2	1.10	2,738	33.8	1.36	3,086	38.0	1.26
	1905	38		8,255	1.24	2,319	28.3	1.12	2,785	33.9	1.38	3,104	37.8	1.27
	1906	39		8,437	1.27	2,370	28.3	1.14	2,807	33.5	1.39	3,212	38.3	1.31
	1907	40		8,583	1.29	2,433	28.5	1.17	2,865	33.6	1.42	3,230	37.9	1.32
維新後も村は、昭和の合併で、牛久村は岡田村と合併し「町」に	1908	41	*	8,462	1.27	2,459	29.4	1.18	3,023	36.1	1.50	2,883	34.5	1.18
	1909	42		8,558	1.28	2,461	28.9	1.18	3,108	36.6	1.54	2,932	34.5	1.20
	1910	43		8,601	1.29	2,538	29.7	1.22	2,973	34.8	1.47	3,038	35.5	1.24
	1911	44		8,742	1.31	2,556	29.4	1.23	3,090	35.6	1.53	3,043	[redacted]	1.24
	1912	大正1		8,959	1.34	2,605	29.3	1.25	3,197	35.9	1.58	3,097	34.8	1.27
	1913	2		9,064	1.36	2,536	28.2	1.22	3,309	36.8	1.64	3,156	35.1	1.29
	1914	3		9,208	1.38	2,583	28.2	1.24	3,352	36.7	1.66	3,209	35.1	1.31
	1915	4		9,472	1.42	2,591	27.5	1.25	3,568	37.9	1.77	3,247	34.5	1.33
	1916	5		9,418	1.41	2,435	26.0	1.17	3,820	40.9	1.89	3,096	33.1	1.27
	1917	6	*	9,693	1.45	2,453	25.7	1.18	3,950	41.4	1.96	3,132	32.8	1.28
	1918	7		9,526	1.43	2,684	28.4	1.29	3,461	36.6	1.72	3,312	35.0	1.35

（HP「奥野の郷」より引用）

びっくり！

どうして？

おくのちくが、
いちばんだったの？

そのひみつは、

おのがわ
と おっとがわ
にあったんだよ！

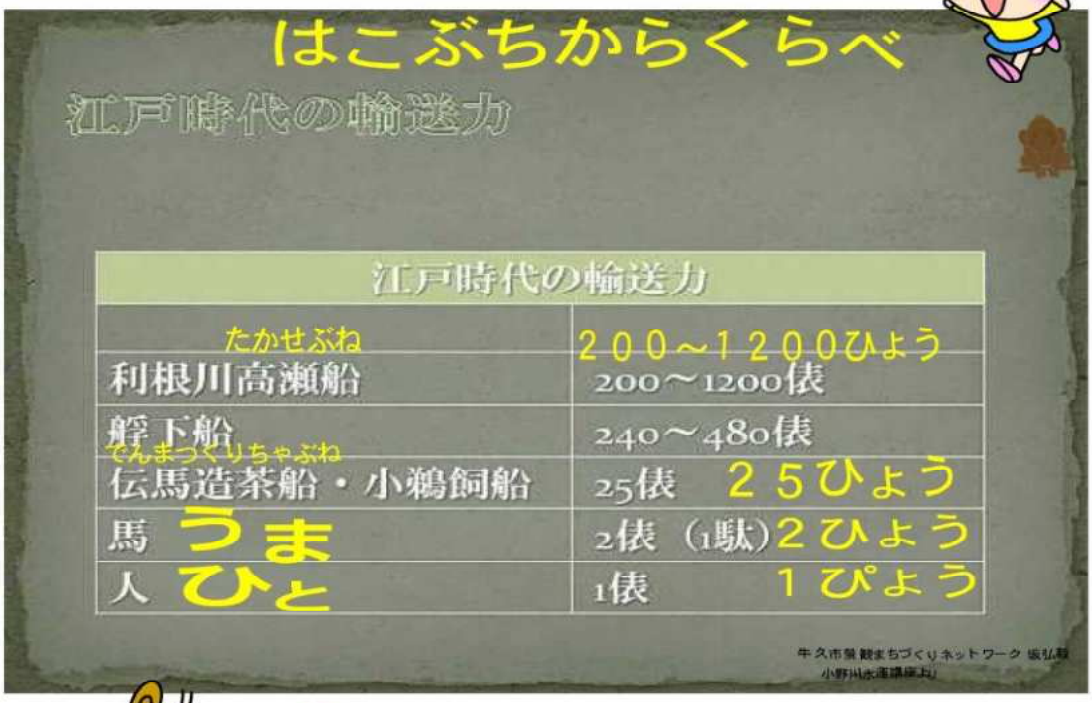
このかわをつかって、ふねでひとやものをはこぶことができたんだ。

びっくり！

おっとがわと

おのがわをつかって、ふねで　ものをはこぶことは、のちに　てつどうができるまで、とっても　たいせつだったんだよ。

※ここで、もういちど、はこぶちからをくらべをみてみよう。



ふねって　すごい！

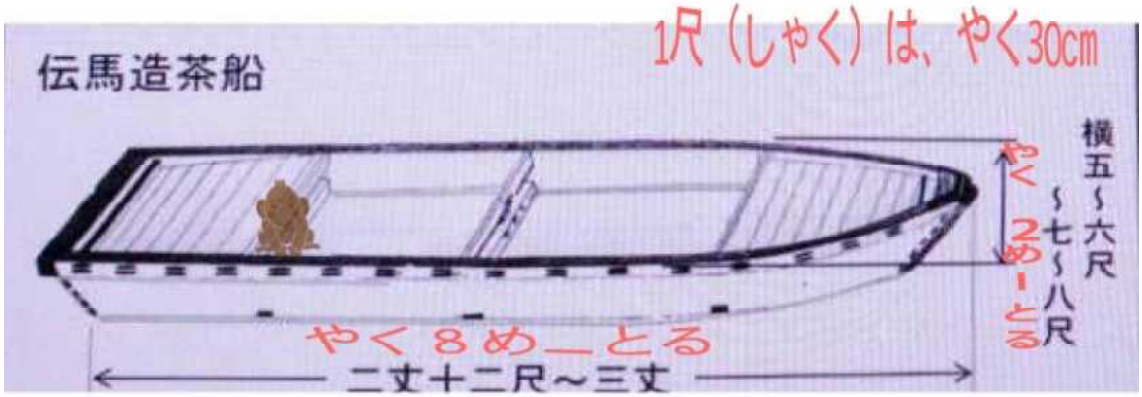
ちなみに、えどじだい みとはんでは、かすみがうらのくしびきからみとはんのこうめてい（すかい つりーあたり）まで、いきはほとさおをつかって９にち かかったんだ。

えどがわは、くだりのきゅうりゅうだったので、せきやどからぎょうとくまで１にちでいけたんだ。

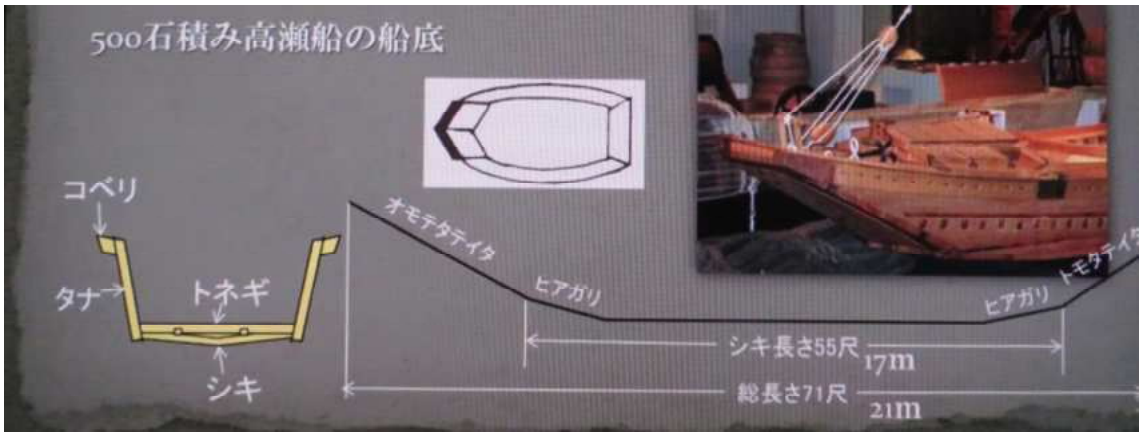
伝馬造茶船で小坂河岸→正直河岸

→伊佐津河岸で高瀬舟に→江戸まで

・伝馬造茶船（２５ひょうつめたんだ）



・高瀬舟（おおきいもので１２００ぴょうつめたんだ）



　ちなみにえどからのかえりは、１４かかったんだ。きゅうりゅうをのぼるからね。

　こうして、ふねは、たくさんのひとやものをはこぶことができたんだよ。

だから

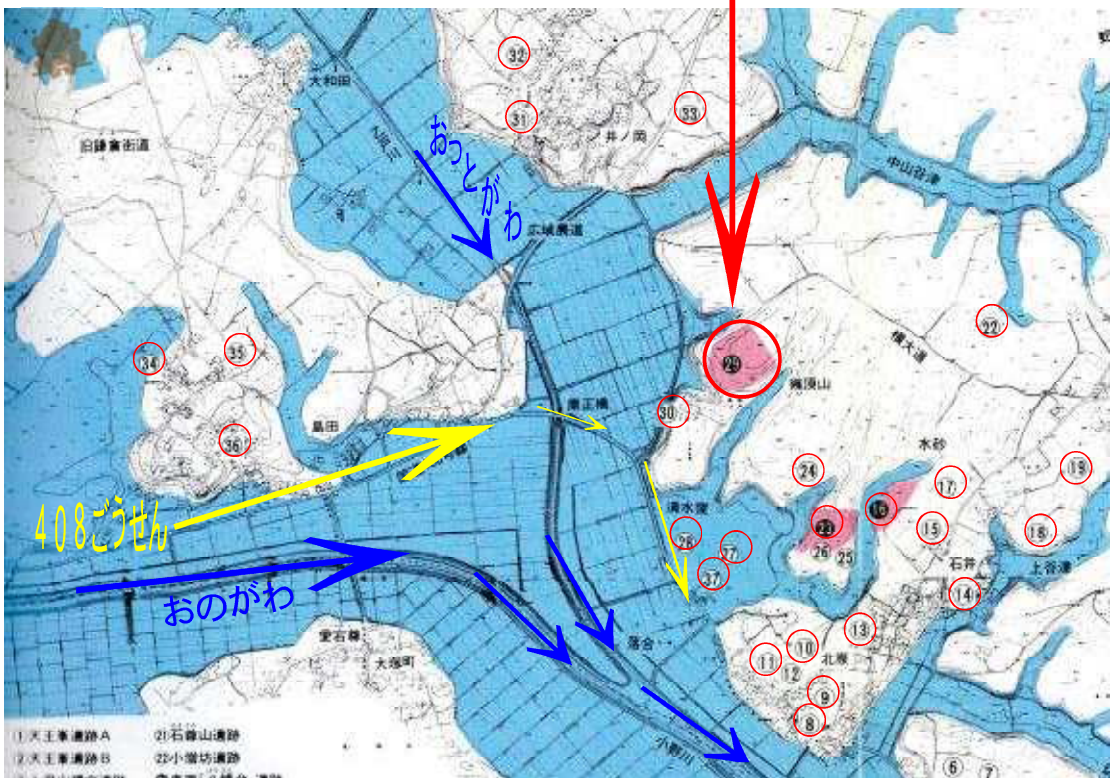
ふねで、はこべるおのがわやおっとがわしゅうへんにひとは、すむようになったんだ。

びっくり！

でもちょっとまって、まって！
おおむかしもそうだったの？
「いいことに　きがついたね」

じつはね、そうなんだよ。

たとえばあかいところは、おくばらのうばがみいせき（ひとがたくさんすんでいたところ）だ。



このいせきにはやよいじだい（弥生時代）からこふん（古墳）、こだい（古代）までつづく、しゅうらく（集落）あとが、みつかっているんだ。

ずのうばがみいせきのまわりのばんごうのついているところもいせきなんだ・・・。

やっぱり、たくさんのひとがすんでいたんだ。

びっくり！

しかもかわは、ふねでひとやものをはこぶだけでなく、いきていくためののみみずにもなっていたんだ。

しらなかった！

さらに、おくばらしゅうへんは、古代東海道が、とおっていたんだ。このみちは、はば12メートルあって平安京から常陸国府までつながっていた　というからおどろきだ。

もちろん、そのみちのはりがやえきのちかくには、みずのルートのえのうらのつ（みなと）あって、さかえていたんだ。

やはり、おくのちくは、すみやすかったんだね。

びっくり！

すごーい！

ところが

　ときがながれ、てつどうが、めいじ 29（1896）ねんにほぼみとかいどうにそって、かいぎょうした。

　そして、てつどうのじだいが、やってきた。

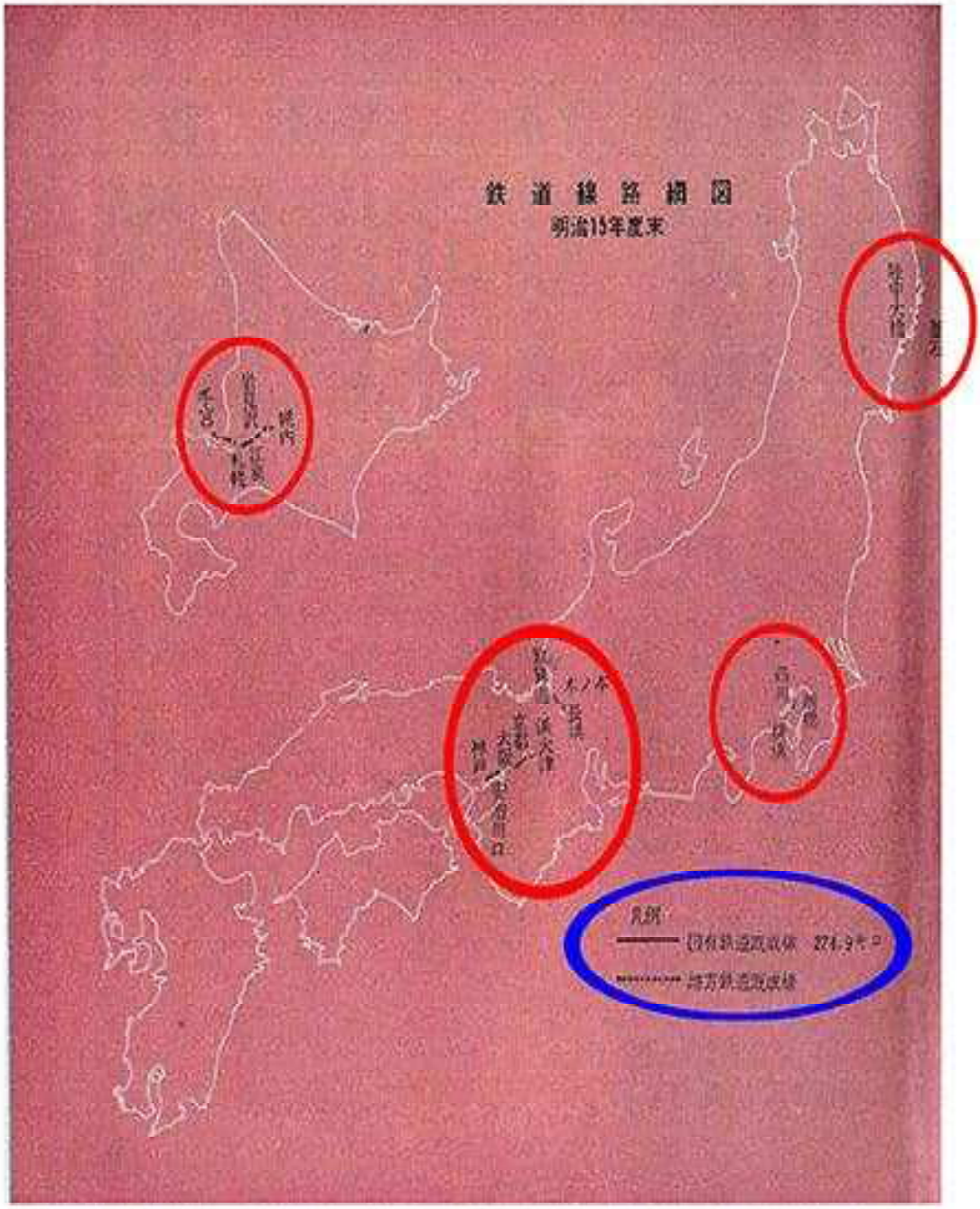
　すると、どうなったの？

　ひとやこめなどを はこぶほうほうが、てつどうになっちゃたんだ！！！

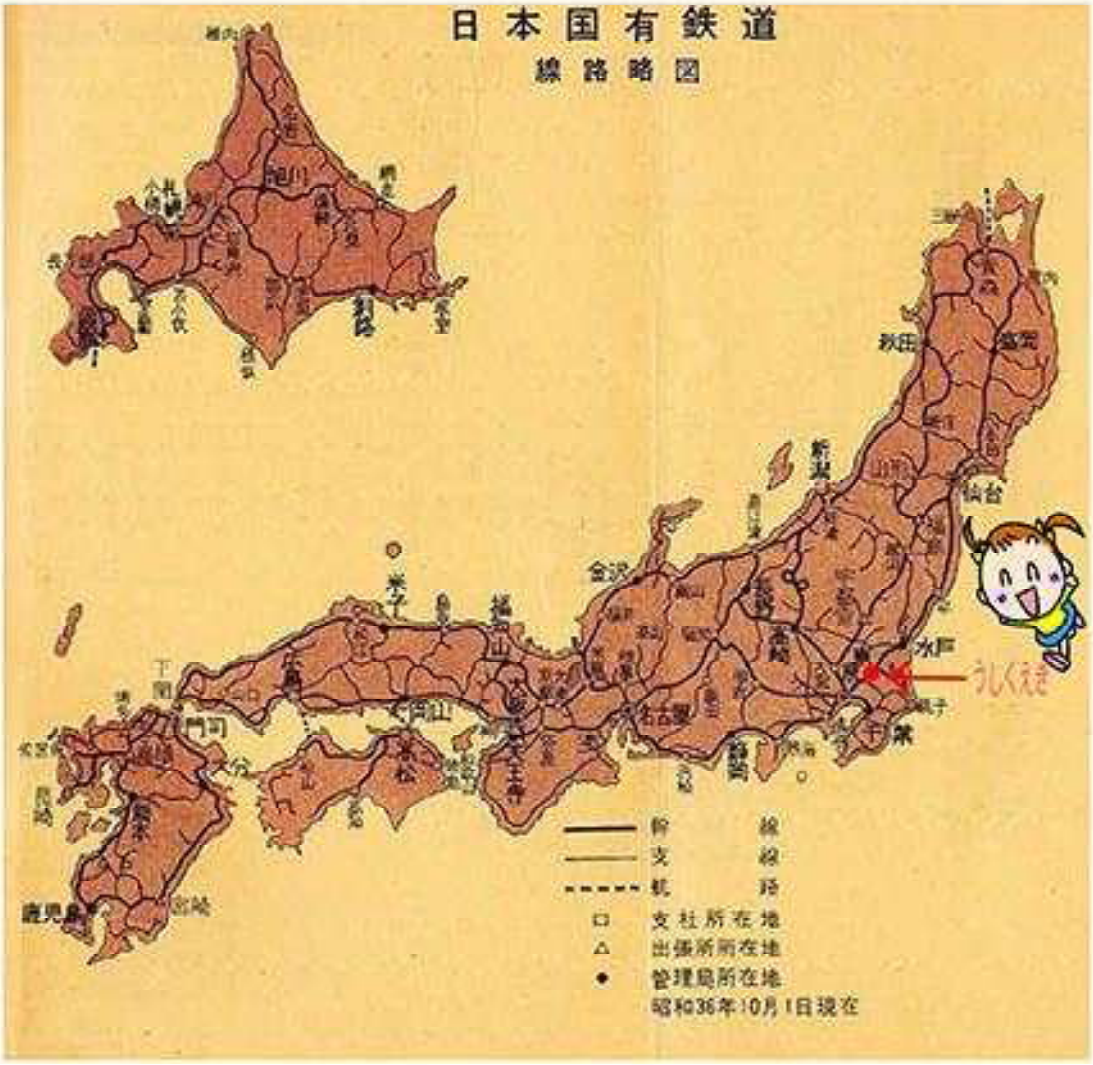
　したのひょうをみてね

これは、めいじ１５ねんど
まつのせんろもうなんだ。

（1961 年日本国有鉄道広報部発行：「国鉄 365 日」より）



だったのが、しょうわ３６
ねんのせんろもうは・・・



（1961年日本国有鉄道広報部発行：「数字でみた国鉄」より:営業距離数は 20,481.9km）

びっくり！

こんなにのびているんだ。

えいぎょうきょりが、
なんと

めいじ１５ねんどまつ　274.9km

しょうわ３６ねん　20,481.9km

になったんだ。

いまは、もっと
のびているんだって！！

べんりになった！

すると、

すると、たくさんのひとがてつどうのえきのちかくにすむようになったんだ。

それだけじゃないんだ！ひとがたくさんあつまったところには、たくさんのしごとやものが、うれるようになったんだよ。

そして、

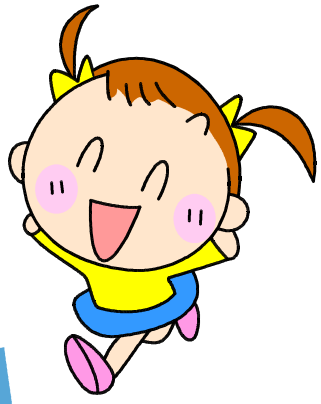
しあわせをもとめて、ゆめのマイホームをたてて、うしくちくにあつまってきたんだ。

だから、こうなったんだ

うしくし	うしくないでのしめるわりあい	
	人口	世帯
うしくちく	５８．９１	６０．５３
おかだちく	３５．８１	３６．８０
おくのちく	５．２８	２．６７

※昭和の合併で旧牛久村がうしくちく・旧岡田村がおかだちく・旧奥野村がおくのちくになった。　HP「奥野の郷」より引用」

びっくり！

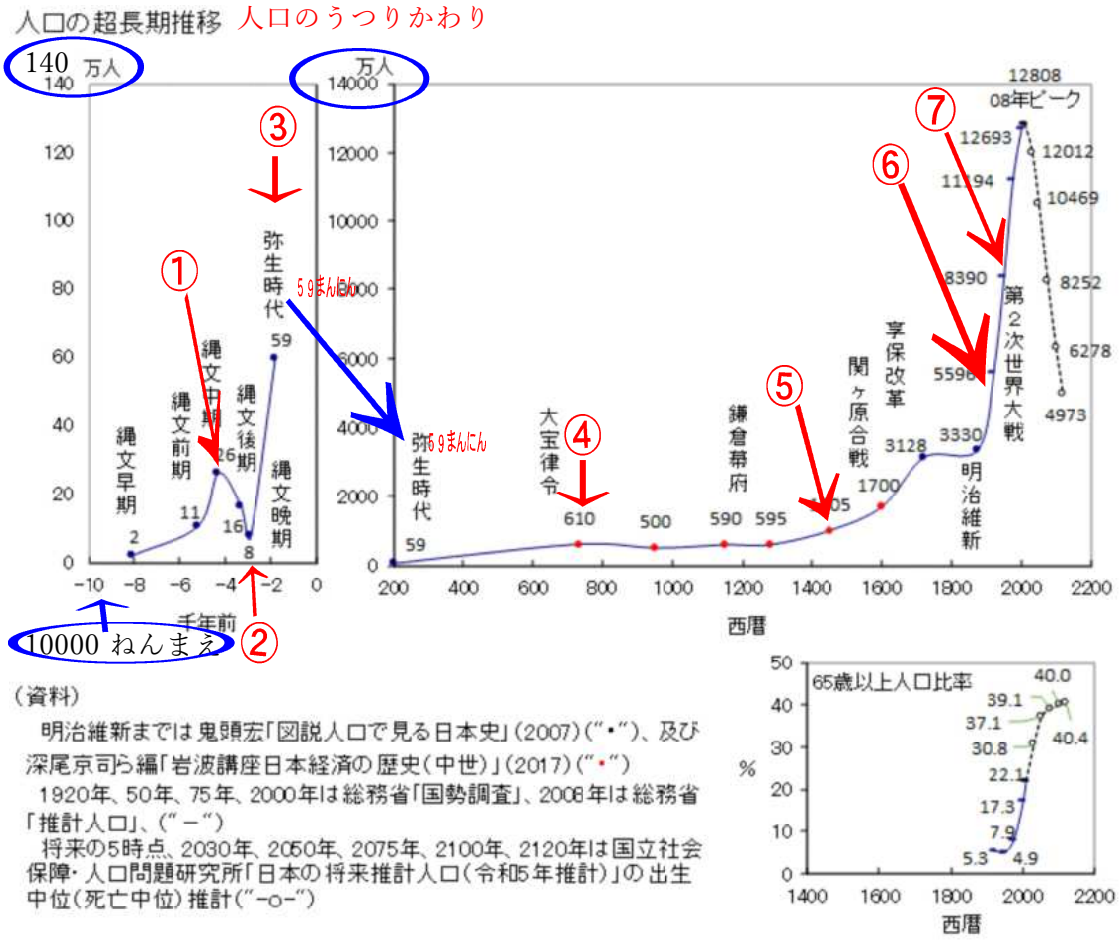


そうか！

そうだったのか！

※ここで人口（ひとのかず）のうつりかわりについて、かんがえてみようね。

　したのずをみて「１まんねんまえから、いままでの人口のうつりかわり」のずだ。



（資料）

明治維新までは鬼頭宏「図説人口で見る日本史」(2007)(“•”)、及び深尾京司ら編「岩波講座日本経済の歴史(中世)」(2017)(“•”)

1920年、50年、75年、2000年は総務省「国勢調査」、2008年は総務省「推計人口」、(“－”)

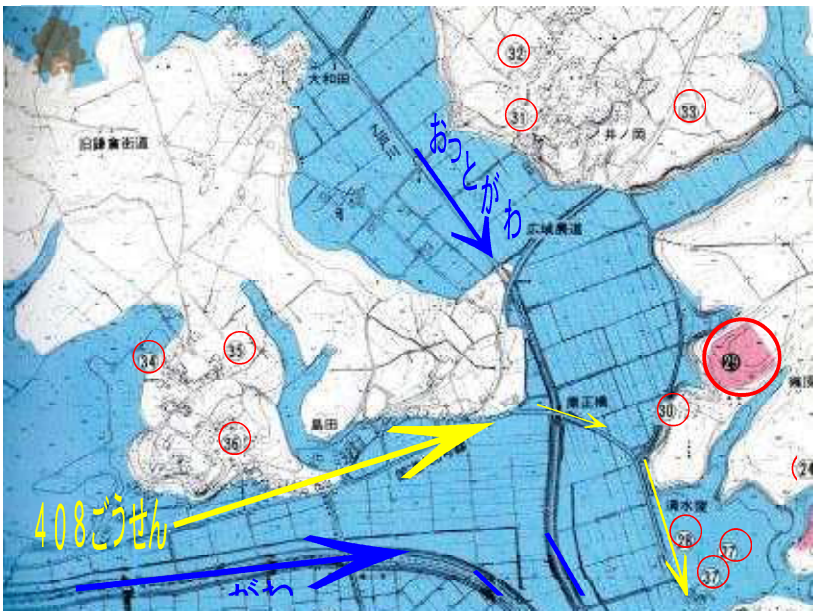
将来の5時点、2030年、2050年、2075年、2100年、2120年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」の出生中位(死亡中位)推計(“-o-”)

ずのばんごうのところは、
①とりやけものが、たくさんいて、
たべものがふえひとがふえていった。

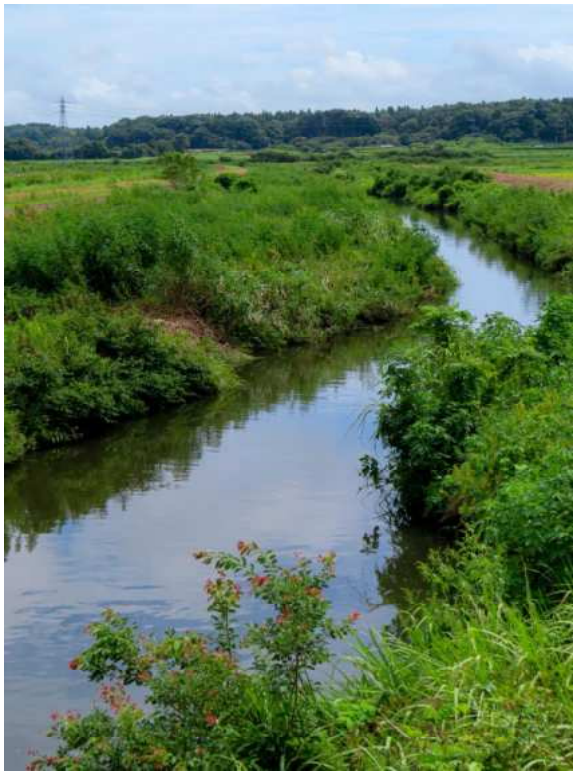
②ところが、さむくなって、たべものがへり、８まんにんにへった。

③あたたかくなり、こめが、たくさんとれるようになって５９まんにんにふえた。

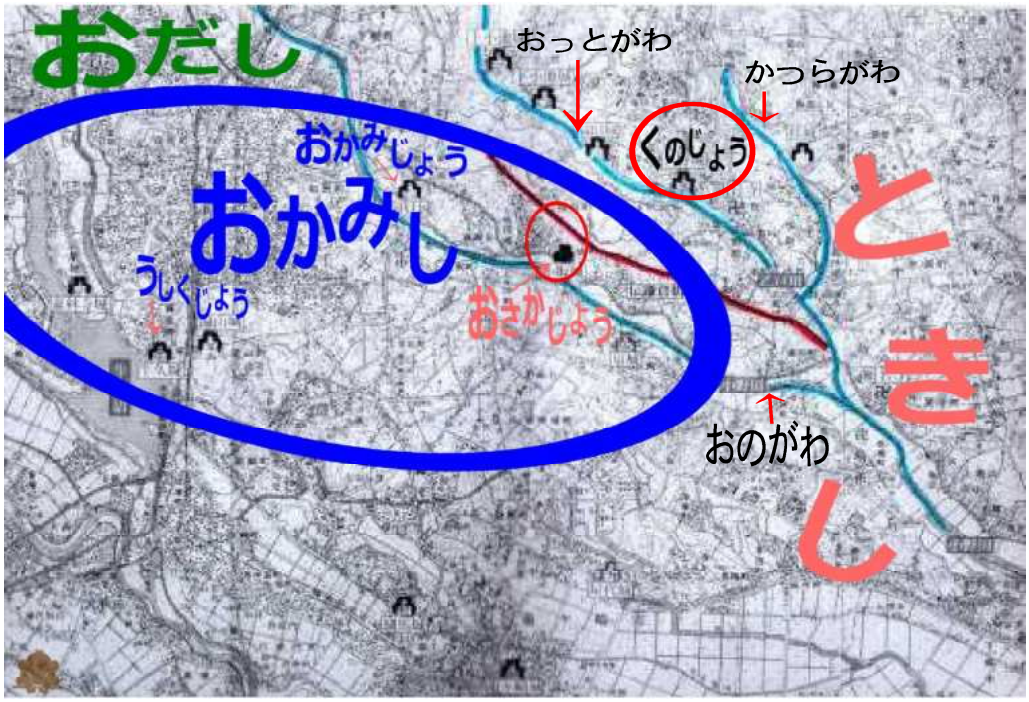
④くにのかたちが、できてくるとこめをつくったり、ひとをはこぶのにべんりなところをもとめてあつまったんだ。



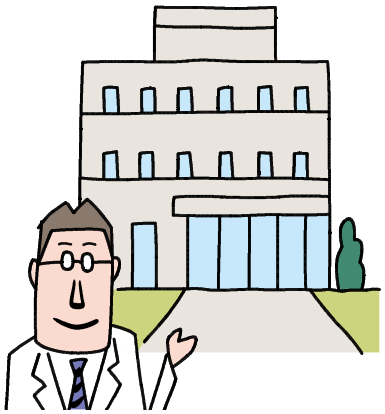
⑤ 戦国大名(せんごくだいみょう)がたやはたをふやし、こどもをふやすことにしたので、ひとがふえたんだ。水運(すいうん)がべんりなところにひとがあつまった。



（おのがわ）

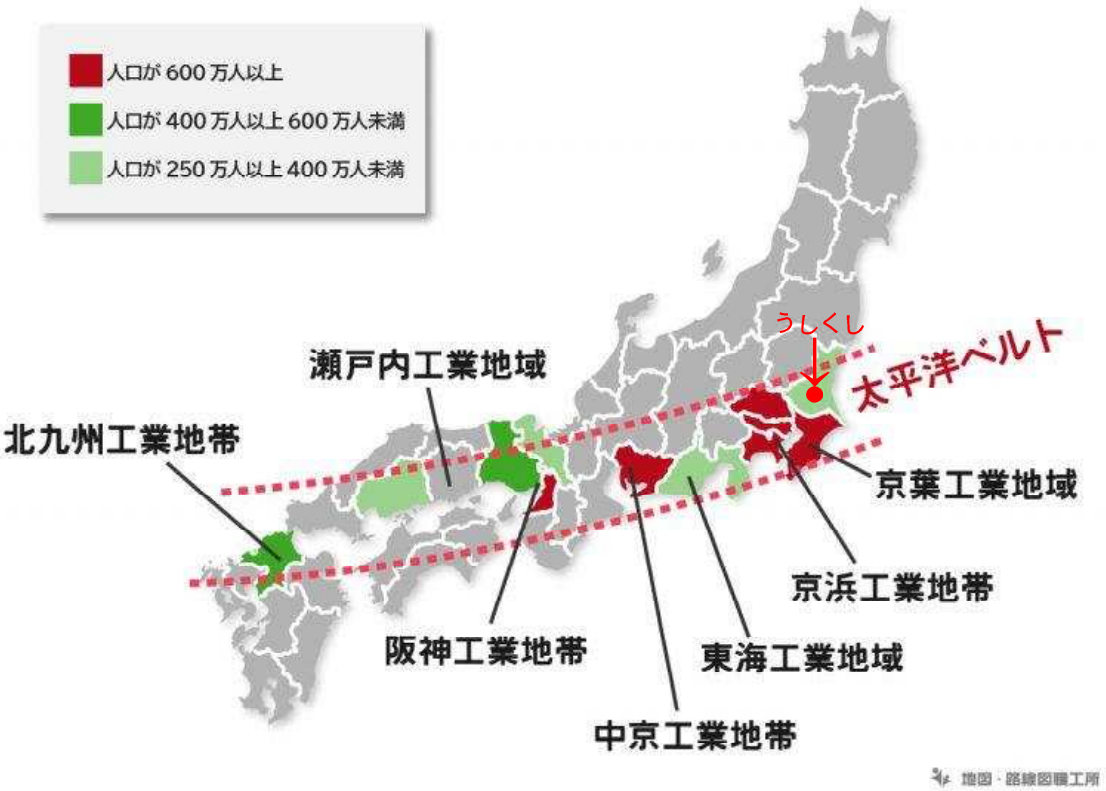


⑥いりょうがすすんで、こどもがふえ、しぬひとがへったので、ひとがどんどんふえた。そして、てつどうやどうろのべんりなところにひとが、あつまった。



⑦エネルギーが、せきたんちゅしんになった。

そしてせきゆにかわり、たいへいようがんにせきゆコンビナート（せきゆをいろいろとつかっていく工業地帯）ができ、ここにたくさんのひとが、あつまったんだ。



（地図・路線図職工所より）

どうしてあつまったの？

それはね・・・

太平洋ベルトには、人口がおおい大都市がつらなっていたんだ。

だから

ここには、はたらくひともおおく、しょうひんをかうひともおおかったんだ。

さらに、

がいこくから原油(げんゆ)や鉄鉱石(てっこうせき)、石炭(せきたん)などのげんりょうをかったり、せいひんをうったりするにも　とっても

べんりだったんだよ。

そうか、

　だからここに、たくさんのひとがあつまったんだ。
　いろいろおしえてくれて、ありがとうございました。

と

　なっちゃん、あきおさんに　おれいをいってかえっていった。

どういたしまして
ありがとうございました

なっちゃんは、かんがえた。おくのちくは、ひとがあつまるために どんなべんりさやしあわせをかんじてもらえるのだろうか と。

おじいちゃんも あきおさんも みんなも かんがえているという。たとえば、山里(やまざと)をいかして。たとえば、道路(どうろ)をいかして。たとえば、みそややまゆりをいかして・・・。

あ！そうだ。

こうしよう！！

こんかいは、あきやがふえ、ひとがへるわけをかんがえ、そのかいけつほうほうをかんがえてきた。これからもかんがえつづけていこう。

さて、こんどは、なにをしらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と　なぜなぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら　かえっていった。

またね